

開講科目一覽表

【看護学研究科看護学専攻】

	授業科目の名称	開講学年	開講時期	開講キャンパス	単位	必修	選択	備考	
共通科目	看護理論	1	春	三木キャンパス	2		2		
	看護倫理	1	春	三木キャンパス	2		2		
	看護マネジメント論	1	秋	三木キャンパス	2		2		
	看護研究方法論	1	春	三木キャンパス	2	2			
	保健・医療・福祉政策特論	1	秋	三木キャンパス	2		2		
	フィジカルアセスメント	1	秋	三木キャンパス	2		2		
	コンサルテーション論	1	秋	三木キャンパス	2		2		
	看護教育論	1	秋	三木キャンパス	2		2		
専門科目	基盤看護学	基礎看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		基礎看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
	療養支援看護学	急性看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		急性看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
		慢性看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		慢性看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
		がん看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		がん看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		2	
	家族支援看護学	小児看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		小児看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
		母性看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		助産看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		母性・助産看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
	生活支援看護学	老年看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		老年看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
		在宅看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		在宅看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
		公衆衛生看護学特論	1	春	三木キャンパス	2		2	
		公衆衛生看護学演習	1・2	春・秋	三木キャンパス	8		8	
		特別研究(修士論文)	1・2	通年	三木キャンパス	8	8		

主 な 授 業 科 目 の 概 要

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	
共通科目	看護理論	看護現象と理論を結び付け看護観を深めるために必要な看護における基盤となる諸理論を教授する。さらに、高度看護専門職業人として看護実践を牽引するために求められる看護観の明確化という課題について考察を深める。	
	看護倫理	発展し複雑化しつつある保健・医療の場において、高度専門職業人として人の生命と尊厳を守り権利を擁護する上で必要な概念や知識を学ぶ。そのうえで保健・医療・福祉の様々な場面で起こる倫理的課題に介入できる能力を身につける。	
	看護マネジメント論	組織をマネジメントするうえで必要なスキルである「課題を見出し、責任を果たし、実践する」知識を身につける。そのうえで、看護職者として所属する組織や保健・医療・福祉ネットワークにおいて、調整を図ることや問題解決のためのマネジメントのあり方を学ぶ。	
	看護研究方法論	看護実践を行う上での看護研究の意義を学び、看護上の課題発掘や看護実践の開発に向けた研究課題を明確にする視点を養う。また看護学研究の特殊性・倫理性を理解し、研究活動に必要な知識と高度な研究手法を習得する。	
	保健・医療・福祉政策特論	グローバルな視点から我が国および地域の少子高齢社会のかかえる課題を理解し、現在の子育て対策、高齢者対策、医療保険制度、福祉政策等、社会保障制度の動向を理解する。その中での看護制度・看護政策を理解し、看護職にとっての政策課題、保健・医療政策へのかかわりかたについて考察を深める。	
	フィジカルアセスメント	高度な実践の基礎となるフィジカルアセスメントの判断の根拠、用い方を理解する。さらに、知識に基づきフィジカルアセスメントに必要な技術を学習し、対象者の身体的状態を診査する能力を養う。	
	コンサルテーション論	医療・看護の場で、看護職を含むケア提供者が職務遂行上出会う実践的な問題を、自ら解決していけるように、看護におけるコンサルテーションの概念と理論、コンサルタントの役割とプロセス、各専門看護学の立場から支援する方法、知識、技術、実践モデルについて学修する。	
	看護教育論	教育的機能が求められる高度専門職業人として、看護教育を基礎教育、継続教育、看護の対象者への患者教育まで広く根拠を以て対応できる能力を身につける。	
専門科目	看護学 基礎看護学特論	看護実践の基盤となる看護理論と看護倫理の学びをとおして患者・看護師の相互作用や科学的根拠に基づいた看護技術、看護過程について体系的に学修する。	
	療養支援看護学	急性看護学特論	危機理論及び関連する概念から、危機状態にある人間の反応と変化の過程について理解する。さらに、危機理論に基づき危機状態からの回復を促す援助について考察を深める。
		慢性看護学特論	回復期・慢性期にある人々、および難病を抱えながら生きる人々とその家族に対し看護介入するための、ヘルスプロモーション、セルフケア等の基礎となる理論を学修する。また患者・家族が疾患を受容しセルフケアを獲得するプロセスにおける援助方法であるマネージメント・フォローアップケアについて学修する。
		がん看護学特論	がんに罹患した患者とその家族に対する看護介入の主要な看護理論並びにその活用について理解を深める。またがん患者個別のQOLの向上、問題解決を図るためのアセスメント技法および治療方針・治療法、治療継続にかかわる患者の意思決定を支える看護援助、苦痛の緩和、終末段階に至ったがん患者・家族が最後の生を豊かに生きるための看護援助技法を探求する。併せてがん医療の動向、がん看護研究ならびにがん看護教育への適用について考察する。
	家族支援看護学	小児看護学特論	子どもを取り巻いている社会状況・環境との相互作用の視点に立って、子ども各期における成長発達の特性、親子関係および家族関係に関連する諸理論、さらに健康に問題がある子ども、生命の危機状態にある子ども、障がいがある子どもなど様々な状況にある子どもとその家族に介入するための概念や理論について習得する。そして子ども・家族に対する看護支援への活用方法を探求する。
		母性看護学特論	国内外における研究を紹介しながら、リプロダクティブヘルス&ライツの概念に立脚して、母性各期(母性準備期・母性成熟期・母性継承期)にある女性を中心に、子ども、パートナーおよびその人々を取り巻く家族の健康生活の特性や身体的・心理的・社会的問題や課題とその援助方法を看護学の視点を通して追及する。また、性感染症、不妊治療、ハイリスク妊娠、ハイリスク分娩、ハイリスク産褥期にある女性の健康支援等、妊娠をとりまく異常状態について学修する。
		助産看護学特論	少子高齢化に対応して、生命を生み出す重要な役割を担う助産師独自の役割・機能の理解を基盤に、生殖にかかわる倫理的課題とサポートについて考察を深め、最新の援助方法を学修する。また地域社会における少子化の動向と助産領域における課題の明確化をはかる。

主 な 授 業 科 目 の 概 要

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容
専 門 科 目	生活 支 援 看 護 学	
	老年看護学特論	高齢者固有のQOLの向上を目指した看護ケアを実現させるために、高齢者理解のための理論や概念、高齢者の健康課題とケアの最新の動向を理解する。加齢や健康障害に伴う心と身体の変化を理解し、科学的根拠に基づく生活機能の再構築の支援の在り方を探求する。また認知症ケアの最新の動向とアプローチの実際を内外の知見をもとに考察を深める。
	在宅看護学特論	在宅看護の基盤となる法律や制度、概念や理論を理解し、現状と課題について探究する。また在宅ケアに関する保健医療福祉制度の動向、現状と課題、訪問看護ステーションの運営に関する法律・制度、及び現状と課題を理解し、家族看護、アドヒアランスに関連する理論について探究する。
	公衆衛生看護学特論	公衆衛生看護活動に必要な地域診断、保健指導、健康教育、相談技術 マネジメント、ケアコーディネーションおよび保健政策の企画、施策化などの根拠となるヘルスプロモーションやソーシャルキャピタルの概念やコミュニティエンパワーメント、プリシード・プロシードモデル、変合理論、行動科学、家族看護論、疫学などの諸理論・諸学問を理解し、公衆衛生看護学の基礎的知識を学ぶ。さらに公衆衛生看護学に関わる国内外の文献を読み、公衆衛生看護学の研究の動向および研究方法について学ぶ。
特 別 研 究 (修 士 論 文)	基盤看護学分野	看護学基礎教育における理論および技術教育、看護技術の原理と適用に関する課題、臨地実習教育に関する課題について研究指導を行います
	療養支援看護学分野	① がんの治療選択、エンドオブライフケア等のがん患者とその家族の個別の状況に応じた看護学領域に関する課題、がん予防行動、がん医療政策に関する活動等の課題について研究指導を行います。 ② 周手術期、急性・重症患者のクリティカルケア及び回復過程・適応に関する課題について研究指導を行います。 ③ 慢性疾患患者と家族の特性、回復期・慢性期・終末期ケアの概念や理論、患者・家族のセルフケア及び、患者・家族のQOL向上に関する課題について研究指導を行います。
	家族支援看護学分野	① 児童の生活習慣改善、小児のターミナルケア等ケアに関する課題、発達障害の子どもの家族支援、子育て支援に関する課題、小児看護師の抱えるストレスやバーンアウトとサポートに関する課題について研究指導を行います。 ② 国内外における女性のライフサイクルを通しての健康課題及び、周産期にある母子の健康支援に関する課題について研究指導を行います。
	生活支援看護学分野	① 高齢者特有の排泄・食事等の生活機能障害、及び病院や施設、在宅での高齢者ケアの課題について研究指導を行います。 ② 子ども虐待に関わる保健師活動、医療機関と保健部門との連携システムの構築、医療依存度の高い子どもの家族への支援、育児不安・ストレスを抱える母親への支援等に関する課題について研究指導を行います。